

## 令和7年度 第4回 湖西市地域公共交通会議 会議録

日 時：令和8年3月11日（水） 10時00分～11時30分

場 所：湖西市役所防災センター2階

出席者：委員13人＋事務局4人

会長	片山 彰宏	湖西市 副市長
副会長	匂坂 隆拡	湖西市 都市整備部長
座長	杉木 直	豊橋技術科学大学 教授
委員	大久保 公雄	浜松バス株式会社 代表取締役社長
委員	服部 光真	遠鉄タクシー株式会社 運行営業部長
委員	山岡 広幸（欠席）	天竜浜名湖鉄道株式会社 常務取締役
委員	中山 國光（欠席）	(社)静岡県バス協会 専務理事
委員	八木 雅子 (代理：平岩 成美)	中部運輸局 静岡運輸支局 首席運輸企画専門官
委員	新垣 賀規	遠鉄タクシー(株) 労働組合 執行委員長
委員	片山 広文 (代理：山本 あす香)	静岡県 交通基盤部 地域交通課長
委員	澤口 奨則 (代理：狩野 恭朗)	静岡県 浜松土木事務所 維持管理課長
委員	森田 克巳 (代理：鈴木 崇太)	静岡県湖西警察署 交通課長
委員	彦坂 昇	湖西市自治会連合会 会長
委員	石田 明正	湖西市老人クラブ連合会 会長
委員	森 宣雄	湖西市社会福祉協議会 会長
事務局	片山 徳二	湖西市都市整備部 都市計画課長
事務局	山下 祐介	湖西市都市整備部 都市計画課 係長
事務局	榊原 徹	湖西市都市整備部 都市計画課 主査
事務局	中村 優	湖西市都市整備部 都市計画課 主任

資料No.	議事次第
1	湖西市地域公共交通計画の改定について
2	令和7年度の予算の補正について
3	令和8年度の予算案及び事業計画について
4	コーちゃんタクシー実証運行の状況報告

## 1 開会

## 2 会長挨拶

本日はお忙しい中、湖西市地域公共交通会議に御出席いただき、誠にありがとうございます。

湖西市副市長の片山です。委員の皆様におかれましては、日頃から市の公共交通行政に対しご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本日の会議内容ですが、地域公共交通計画の改定と令和7年度予算の補正、令和8年度予算案及び事業計画についての協議事項が3件、コーちゃんタクシー実証運行の状況についての報告事項が1件ございます。

特に、公共交通計画の改定については、パブコメを受けた最終案について皆様に協議いただくものであり、コーちゃんタクシーの実証運行の状況報告につきましては、来年度以降の継続に向けた議論に繋がるものですので、委員の皆様から忌憚のないご意見をいただきたいと思いますと考えております。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

## 3 協議事項

### (1) 湖西市地域公共交通計画の改定について

<事務局>

- 資料説明（資料1）

<座長>

- P19の追加については、最後の2行が追加になったということによろしいか。またパブコメを受けてではなく、事務局での修正ということによろしいか。

<事務局>

- ご認識のとおり。当該箇所については前回会議での委員の意見を受けて事務局で修正した。

<座長>

- パブコメについて、何名から意見があったのか。

<事務局>

- 3名から意見があった。

<匂坂委員>

- P41のコーちゃんバスの年間利用者数については、北部の小中学校統廃合の影響も踏まえた数値

になっているという理解でよろしいか。

<事務局>

- ご認識のとおり。P34 の将来像に追記したとおり、北部地域の住民の通勤・通学など朝夕のまとまった移動需要に応じていくことも踏まえた目標設定としている。

<座長>

- 小中学校の統廃合の影響も踏まえているとのことだが、必ずしも現時点で全てが想定されるわけではなく、本計画は現状を常にチェックしながらPDCAサイクルを回してブラッシュアップしていくものであるため、適宜見直しながら進めていくというような回答でもいいのではないかと。

<平岩委員>

- P49 の修正で、コーちゃんタクシーの収支率について、基準値よりも低い目標値にしているのはなぜか。

<事務局>

- コーちゃんタクシーについてはサービス拡充に伴い、利用者へ使っていただくことをまず考えると、コーちゃんタクシー単体で見ただけの場合には、収支率はどうしても悪化してしまう。市としてはコーちゃんバスも含めて、最適な交通ネットワークを形成していく中で、全体の収支率を改善していきたいと考えている。

<座長>

- 現状より単純に悪化するということではなく、拡大運行後の目標値として設定していることを補足いただいた方がよろしいのではないかと。

<森委員>

- P38 の満足度の目標値について、非運転者の方の満足度の方が高くなるような交通の整備を今後行っていくことを考えると、非運転者の満足度と全体の満足度が同じ設定というのはいかがなものか。

<事務局>

- おっしゃる通りそうなるのが理想ではあるが、現状値にほとんど差が無いため、目標値としても同じ設定とした。

<座長>

- 目標値を高め設定したほうがいい気もするがこれでパブコメをかけてしまっているため、今後計画のPDCAサイクルを回していく中で、目標値を高め設定していくことも検討していった方がよろしいのではないかと。
- それでは、これらの修正を行っていただいた上で、協議事項(1)「地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について」のご承認をいただければと思いますが、よろしいでしょうか。

<一同>

- 異議なし

<座長>

- ご異議ございませんので、承認とさせていただきます。

## (2) 令和7年度の予算の補正について

<事務局>

- 資料説明（資料2）

<座長>

- 予算の話であり、本来9月や12月に補正すべきものに関しては、次年度以降、早めに協議にかけていただくよう留意されたい。

<事務局>

- 承知した。

<座長>

- 協議事項（2）「令和7年度の予算の補正について」のご承認をいただければと思いますが、よろしいでしょうか。

<一同>

- 異議なし

<座長>

- ご異議ございませんので、承認とさせていただきます。

## (3) 令和8年度の予算案及び事業計画案について

<事務局>

- 資料説明（資料3）

<座長>

- BaaS事業の負担金が前年度よりも減っているのはなぜか

<事務局>

- 令和7年度の予算計上時においては、BaaSの事業費の多くを占める車両の保険料や燃料費について、合計6台分を計上していたが、協力企業との調整の中で、4台分に削減することができ、当初予算ベースで比較したときに予算についても削減できたものである。

<座長>

- コーちゃんタクシーの実証運行は令和8年9月まで行う予定だと思うが、令和8年度予算に計上されていないのはなぜか。

<事務局>

- まず、令和7年度のコーちゃんタクシーの実証運行経費については、市の一般会計予算と公共交通会議での予算の2本立てで措置しており、サービス拡充に係る国庫補助金充当部分を公共交通会議で予算措置していた。令和8年度については、国庫補助金を活用せず、市単独の一般会計予算のみでの実施となるため、会議の予算としては計上していない。

<座長>

- BaaSの売上金について、協議事項（2）の令和7年度補正予算で20千円を15千円に下げたが、予算計上は20千円のままでよいか。

<事務局>

- 通年運行を開始したので、売上を増やして、そこを目標としていくということで20千円のままとしたい。

<座長>

- 承知した。
- それでは協議事項（3）「令和8年度の予算案及び事業計画案」のご承認をいただければと思いますが、よろしいでしょうか。

<一同>

- 異議なし

<座長>

- ご異議ございませんので、承認とさせていただきます。

## 4 報告事項

### （1）コーちゃんタクシー実証運行の状況報告

<事務局>

- 資料説明（資料4）

<匂坂委員>

- 資料P7の乗合率について、時間帯別やどこからどこへの移動で乗合が高いのかといったデータも取得することはできるのか。

<事務局>

- データとしては取得可能。そこが見えてくるとコーちゃんバスの路線をどう引けばよいのかの参考にもなる。

<匂坂委員>

- 来年度からのバスの見直しにあたり、どのようなデータを使えばよいかはよくご検討いただければ。

<座長>

- コーちゃんタクシーの利用区間とコーちゃんバスの路線との重複率のチェックはしたほうがいい。そこが高いところはバスへの転換を図れる可能性がある。

<彦坂委員>

- コーちゃんタクシーの全域化や土日祝日運行も始めた時点で、市の負担が増えるのは当たり前。今までのサービスよりもきめ細かいサービスを提供するのが拡充の狙いであったはず。
- 今、課題として出ているのは、最初から分かっていることであって、実証実験を半年やってからこれを課題として捉えるのはダメだと思う。
- 利用者からすると、土日祝日も使えるようになり、運行時間帯も前後1時間増え、1時間間隔の運行だったのが30分間隔になり、非常に利便性が高まって使いやすくなった。一人で動ける自由度が上がった中で、そこに乗合率向上をすぐ求めるのは、どうやっても難しいと思う。少なくとも3年から5年は市の負担が増えたとしても、湖西市として市長の思いで始めた事業なのだから、時間をかけて、細かいデータを分析しながら、利便性を落とさずにどのように乗合率を高め、収支を改善できるか考えていくべき話である。いまこの段階で市の負担がどうこう言うなら最初からやらない方がよかった話である。
- バスへの転換に関しては、デマンドが便利だから公共交通を使うようになった利用者層に、昔の状態に戻ってしまうと捉えられてしまったら市民の満足度は下がってしまう。

- やった以上は腹をくくって、費用負担の課題を前面に出しすぎないで、ただし運営側としては課題として十分に認識していただきながら、段階を踏んで解決していただきたいと思う。

<事務局>

- やる前から市の負担が増えることが分かっていたのはご指摘のとおりであり、当然、利用者に対してそうした課題感を前面に出してはいない。会議の場で運営側の課題や悩みを共有させていただき、委員の皆様からの助言をいただきながら一緒に進めていきたいと考えている。

<彦坂委員>

- こうした場で悩みを共有していただくのはもちろん構わないが、簡単に答えが出るような話ではないということを十分認識し、市の負担が増えることをある程度覚悟しながら、時間をかけて解決していくべきものである。そうしないと根付かない。

<事務局>

- 窓口では利用者から好意的な反応をいただくことが大半であり、やってよかったと思う反面、運営側の悩みとしてはあるものなので、引き続き会議で共有できればと思う。

<座長>

- P21 のアンケートの結果をみても、「運転免許証の返納を検討する」と答えた方が多く、プラスの効果が出ている。負担額や収支率が今よりも悪くなることは P22 の資料のとおり、当初から想定されていたわけであるが、公共交通計画での目標数値に近づけていく必要がある。市としてどこまで公共交通にお金をかけるのかというのは、市長の思いもある一方で、一定のラインを越えると事業継続が難しくなってしまう側面もあると思う。
- 乗合率向上の施策として、高齢者の集まりの場での周知という話もあったが、それでは限界がある。AI 配車システムの配車の順番や AI のパラメーターの設定で乗合率を向上させる余地はないか。

<服部委員>

- すでに AI 配車システムにより自動配車の運用を行っており、それに加えて、現在、湖西市と web 予約方式の導入検討を進めている。これらを含め、乗合単独でのシステム構築を考えていく中で、一般乗用と切り離した形で乗合率向上を考えていく必要があると認識している。

<座長>

- 乗合率が下がった一番の理由は、30 分間隔の運行になり、利用時間帯が分散したためであると推察する。利用者からすると出発や到着時間の選択肢が増えたことで利便性が大きく向上したが、利用者の中には、この時間に必ず移動しなければならないという人がいる一方で、もし少し安くなるなら、時間をずらして誰かと一緒に乗ってもいいという人もいるはずである。
- こうした人たちをマッチングできれば乗合率は向上するはずで、例えば予約状況を利用者がウェブサイトを確認し、利用者が乗合を選択できるような仕組みが実現できれば、利便性を低下させずに乗合率を高められると思う。あるいは電話を受けるオペレーターにとって、かなり負担になるため現実的でないかもしれないが、オペレーターから乗合を提案するやり方も一案。

<服部委員>

- 乗合によって料金を安くする仕組みについては、オペレーターの料金計算やドライバーの運賃收受の間違いなどのトラブルの元になりかねない。今後、web 予約対応の中で、事前決済やキャッシュレス対応など、全体最適の中で考えていく必要がある。

<座長>

- バスへの転換に関しては、今年度実施した利用者アンケートでは、行きはコーちゃんバスを利用して帰りにコーちゃんタクシーを利用したという方が多くいた。おそらく、帰りは荷物を持っているのと、帰りにちょうどいい時間のバスがないことが理由であり、こうした複合的な使い方は公共交通のシステムを考える上では重要である。

<事務局>

- 市の窓口でよく聞く利用者の意見であるが、コーちゃんタクシーを拡充しても、バスは200円ということでタクシーよりも安いため、バスが使える時間はバスを使いたいという方も一定数いる。来年度のバスの見直しの中では、コーちゃんバスとコーちゃんタクシーの共存をどう図っていくかという観点も踏まえて検討していきたい。

<座長>

- コーちゃんタクシーの拡充により、今まで自家用車で移動していたが、公共交通を利用するようになったという層もいると思う。こうした方々はバスのことをあまり知らない可能性があり、同じ時間帯に安いバスが利用できることが分かればそちらを利用したいという方もいるはずなので、今後データ分析に基づき皆様と議論できればと思う。

<森委員>

- 乗合率の向上に関し、市内各地で、月に2回程度、健康体操やいきいきサロン、いばしょの活動をやっており、ここに参加する方々をコーちゃんタクシーでうまく乗り合わせて移動できるようなこともご検討いただけたら。地域の役員が何周も地域を回って送迎しているということも聞く。

<座長>

- AIの乗合生成のパラメーターの設定と、利用者の乗合に対する許容度のバランスは難しいが答えを探っていけないといけないところ。

<新垣委員>

- 運転手の立場で発言させていただくと、利用者はパーソナルスペースを非常に意識されており、乗り合わせが多くなることは求めている。利便性を高くして乗合が下がったとしても利用者を増やして収支を改善する方が個人的にはいいと思う。

<座長>

- 乗合が下がって一人乗りの利用者が増えていくと収支はどんどん悪化するため、そこが問題である。コーちゃんタクシーはただの安いタクシーではなく、「公共交通」であるということをきちんと周知していけないと、先ほどのパーソナルスペースの確保の話のように、乗合が利便性を低下させていると思われてしまうのは施策の主旨から外れてしまう話である。

<新垣委員>

- 500円の料金設定も果たして妥当なのかと個人的には思う。やはりいろいろと物価が上がっている中で、市が裏負担しているのも分かるが、もう少し利用者負担を求めてもいいのではないかと。

<座長>

- 一人乗りで料金を上げていくと一般のタクシーとどんどん差がなくなってしまうので、コーちゃんタクシーの仕組みをどのようにバスとタクシーの間のサービスとして位置付けるのかという話だと思う。利用者アンケートを常時とることはできないため、現場での利用者の声を共有していただくことは非常に重要である。

## 5 閉会

<事務局>

- 以上をもって、令和7年度第4回湖西市地域公共交通会議を終了とします。

以上